

## 横須賀 2014/10/7~8

最初の計画では大阪か名古屋に行くつもりだった。東京オリンピック開催50周年であり東海道新幹線開業50周年を記念して、ほぼ半額の乗車賃で新幹線が使える企画をJR東京だか東海が考えたのだ。しかし、チケット購入のために細かい手続きをして申し込んだら、対象期間全ての新幹線が満杯だそう。バカやろー。

腹の虫が治まらないが、折角臨時休業を予定していたので何処か一泊で近場へ。

前々から気になっていた横須賀に行くことにした。「港のヨーコ、ヨコハマ、ヨコスカ」「横須賀ストーリー」じゃないが、どこか洋風で戦後で眩しい街、そして居酒屋密集地帯として評判が高い横須賀へ。

前日の台風18号の暴風雨はおそらく横須賀でも猛威をふるったことだろう。10月7日は台風がウソのような秋晴れ。久しぶりの居酒屋ツアー。

谷保10時20分発の南武線、乗り継ぎに少し手間取って最初の目的地、汐入駅についたのが12時5分頃だった。横浜駅のホームで電話していたG君が私たちを追い抜いて先に到着していた。

各駅停車の電車しか止まらない汐入で降りたのには訳がある。駅から3分程のところには昼の11時から営業している「一福」があるのだ。有名な「どぶ板通り」の入り口辺りに位置していて、昭和24年創業と言うから私より年上である。昔は米軍基地の組合食堂だったとか。和洋食中華何でもありの食堂居酒屋だ。



煮込み、餃子、野菜天、ピーマンベーコン炒め、その他忘れた。各自お茶割2、3杯飲んで一人2000円くらい。入店時には4、5人の客がパラパラ。1時間半程飲んで帰りの頃には結構いたな。店を出て入口のショーウィンドーを覗いたら真っ白にチリの積もった食品見本。昭和24年からのチリなのだろうか？シブイ。



どぶ板通りを15分ほど歩いていただろうか。次の店「天国」に到着。ここは揚げ物が旨いらしい。当然「手羽の唐揚げ」と「ニンニク揚げ」を注文。手羽は旨いのでお代りした。



一人ウーロン割り2杯ずつ飲んで1500円くらいでした。ここも昼の12時から営業している。お酒好きなオジサンの強い味方である。30分程喫茶店で小休止。次は何処へ行くかを検討。「ぎんじ」へ決定。

実は私の予定の中に「ぎんじ」は入っていなかった。居酒屋読本で私が一番信頼する浜田信郎氏の評価が今一つだったからだ。

味のある暖簾。扉を開けると整然とした古き時代の佇まいに圧倒される。これは老舗の本道を行く居酒屋である。東京でもなかなか無い名店ではないか。ほとんど無駄のない動き。磨き上げられた店内。雰囲気最高です。

「写真とらないで！」「撮った分は消しといて」確かに店内のお客に迷惑だからやたらに撮るのはよくないと思うが。自分の頼んだつまみぐらい静かに撮ってもいいんじゃないかね。

この厳しい従業員の態度が評価を下げているような気がする。

湯豆腐が有名だそうだ。辛子が付いている。後は何を頼んだのか覚えていない。写真がないので。

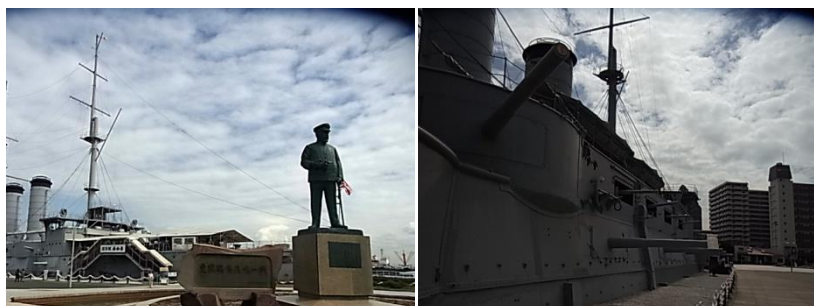


隠し撮りを2枚ほど。



素面で一人で静かに飲みに行きたい店。今度はカメラ持たずに。

次の朝カプセルホテルで朝風呂入って、折角だから名所見物でもと三笠公園に、とぼとぼ歩いて行った。少し酒が残っている。



今度の居酒屋ツアーで一番期待していたのが「中央酒場」。魚料理がメインで朝10時からやっている。



我々がいった1時頃はまだ余裕があったが2時頃には満席になった。ここも横須賀の名所だな。ビールとウーロンハイ各自2杯ずつ、刺身3点、卵焼き、ニラ玉、天ぷら・・・一人2500円くらい。

もう一軒と言うことで焼き鳥「相模屋」へ



この店初めて来たのになんか懐かしいな。焼きとり一本80円だし。

家に帰って撮った写真の整理をしてて解りました。真ん中の焼き鳥が2日目の2軒目、右の写真が前日の4軒目の焼き鳥写真。お皿が同じ。実は前日も行ってたんだ。4軒目何処に行ったのか3人とも覚えていないんだから。

と云う訳で今回も楽しい居酒屋の旅でした。横須賀は予想以上に居酒屋が充実した街だ、昼から営業している店も多数ある。小泉純一郎氏もたまには居酒屋で飲むのだろうか？行けなかった店もまだあるな。また機会を設けてチャレンジします。